

消防鹿島分署整備事業について

これまでの経過

- ・消防鹿島分署は、老朽化（昭和42年2月建設）及び狭あいのため、防災拠点の役割を果たせない恐れがあり、早急な移転改築が必要であることから消防鹿島分署整備についての協議を始めていた。
- ・新市建設計画では、合併特例債を活用し、平成23年度に移設建て替えを着手する計画であったが、東日本大震災の影響により延期となる。
- ・消防鹿島分署移転改築の財源については、合併特例債を活用することで進めていたが、財源が有利な「消防防災施設災害復旧費補助金」に該当する可能性があり、補助金申請には耐震診断報告書が必須資料であることから、耐震診断業務を委託するため平成26年9月補正で予算を計上し、耐震診断調査を実施した。
- ・建設予定地については、一定程度の広さの確保、市街地までの距離、洪水ハザードマップで浸水の危険性がない等の条件、及び平成27年度に「消防防災施設災害復旧費補助金」を申請するにあたり、平成26年度中の用地決定が必要であったため、用地の取得や造成が不要で早期建設が可能な土地を選定した。
- ・建設予定地については諸条件を考慮し、広域消防、地域協議会、消防団、区長会及び市の関係各課と調整を図り、鹿島生涯学習センター隣の市有地とした。
- ・平成28年度に移転改築工事を行うために、平成27年度当初予算に測量、地質調査及び基本設計費として8,551千円を計上。

耐震診断結果

- ・震災による影響は軽微であるものの、老朽化による経年劣化との報告であった。

財源

- ・耐震診断の結果を踏まえ「消防防災施設災害復旧費補助金」の該当について県の担当者に確認したところ、補助金該当は難しいとのことから、当初から予定していた合併特例債を活用し、整備事業を進めることとした。

候補予定地の再検討

- ・上記、耐震診断結果及び財源を踏まえ、改めて建設予定地について再検討とすることとした。